

議事概要

会 議 録

会議名	平成29年度 第1回坂祝町地域公共交通会議
日 時	平成30年3月23日(金) 13時30分～15時00分
場 所	坂祝町庁舎4階 第2委員会室
出席者	委員11名(うち代理2名) 事務局5名
欠席者	無し
傍聴者	無し
次第	1. 町長あいさつ 2. 委嘱状交付式 3. 委員の紹介 4. 運営について 5. 報告 (1) 坂祝町公共交通の現況について (2) デマンドタクシーの導入(案)について 6. その他
議事要旨	
開 会 総務課長： 第1回坂祝町地域公共交通会議を開催いたします。 本日は次第に沿って進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。	
1. 町長あいさつ 町長： 本日はみなさま年度末のご多用のところ、坂祝町地域公共交通会議に出席いただきありがとうございます。現在坂祝町では無料の福祉バスを走らせております。高齢者が増えている中でなかなか対応できてないということから、デマンドタクシーを考えてほしいという要望が出ております。できれば平成30年度に運行できるようにしたいと考えております。みなさまにご協議いただいて、どのような形になれば一番良いのか教えていただきながら、私たちもそれに沿って進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。	
2. 委嘱状交付式 代表1名委嘱状交付	

(町長は公務のため退席)

3. 委員の紹介

委員名簿順にて自己紹介

4. 運営について

坂祝町地域公共交通会議設置要綱について確認。(資料2ページ、3ページ)

会長の互選について 事務局推薦により副町長 三品智裕さんに決定。

事務局：

次に次第5に移りますが、本日は第1回の会議であります。これより事務局及び担当課から報告事項がありますが、本日は当町の現況や当町で考えている事業を知っていただく場とし、協議を調える(決定)場にしないことを先に申し上げます。よろしくお願いいたします。それでは進行を会長にお願いしたいと思っております。会長よろしくお願いいたします。

会長：

これから報告に入りますが、坂祝町は東西4km、南北3kmの小さなまちとなります。そういったイメージを持って当町の輸送サービスについてご意見いただけたらと思っております。それでは事務局より坂祝町公共交通の現況について説明をお願いします。

報告1 坂祝町公共交通の現況について

資料4ページから13ページに基づき説明

会長：

ただいま事務局より説明ありましたが、何かご質問ございますでしょうか。

委員：

1点目で以前路線バスは存在していたのか。2点目で福祉タクシーの概念とはなにか。3点目で資料13ページの85歳以上の回答で、わからないとの回答が一番多いがなぜか。以上3点についてお聞かせください。

事務局：

路線バスについては、30年ほど前に岐阜バスが運行しておりました。美濃加茂市から各務原市へ行くルートで、坂祝町では国道21号線を走っておりました。廃止については、年数はわかりませんが赤字路線になったということで廃止になっております。2つ目の福祉タクシーですが、福祉バスよりも早く目的地に着くタクシーと解釈しております。3つ目のアンケートの件ですが、デマンドという言葉が理解されていない方が多く見えたということで、わからないという回答が多くなったのではないかと思います。

会長：

その他ございますでしょうか。

委員：

資料5ページの総合計画の取り組みで、効率的なバスの運行ということで様々な年代や誰もが利用しやすいバスの運行とあります。これから行うことは高齢者をターゲットにされていますが、今後様々な年代や誰もがというところは協議していくのでしょうか。

福祉バスの1便1台あたり5、6人乗っていますが、それなりに乗っている方だと思います。ルートが坂祝駅中心ではなく美濃加茂市中心になっていますが、これは住民の行動パターンなどを把握して決めているのでしょうか。

事務局：

福祉バスは何十年も前から運行しておりますが、当時の生活スタイルは美濃加茂市の駅周辺で買い物したり病院に行ったりしており、そこからルートが決まっております。ルート設定時から現在まで、生活圈や住民の行動パターンをもとにルートの見直しをしたことはありません。

委員：

昔のJR高山本線は2時間に1本程度だったので、このようなルートにされたと思います。しかし今は1時間に2本となっていますので、わざわざ美濃加茂市に行く必要がないと思います。

事務局：

あと様々な年代に対応していくかということですが、通学については坂祝町小さなまちで、学生は駅まで自転車で通って見えるので、現在通学に対応していくということは考えておりません。

会長：

今後福祉バスについて協議していくことは事務局どう考えているのでしょうか。

事務局：

デマンドタクシーに導入にあたりましては、無料の福祉バスをどうしていくのかということも検討していく必要があると思います。並行して進めていきますのでコストが一番の課題になります。委員の方からご意見いただいてどのような方向性にしたら良いか決めていきたいと思っています。

委員：

デマンドタクシーは地元タクシー業者への影響がありますのでよく相談して進めて下さい。

会長：

続きまして、デマンドタクシー導入（案）について事務局説明をお願いします。

報告2 デマンドタクシー導入（案）について
資料14ページ、15ページに基づき説明

会長：

ただいま事務局より説明ありましたが、何かご質問ございますでしょうか。

委員：

前の説明で福祉バスの乗り方などがわからないという説明がありました。予約型のタクシーとなりますとさらに利用方法が複雑になりますので、高齢者向けに乗り方教室というものを行う必要があると思います。今日福祉団体の方がお見えですので協力して行っていただけたらと思います。乗り方がわかると安心して利用してもらえenと思いますのでよろしくをお願いします。

委員：

デマンドタクシーなど新しいサービス始めた場合、利用者に変化が起きるので気を付ける必要があります。他市町村ではデマンドに移行した際に、使い慣れたバスが無くなったことで利用しなくなる人が出てきたり、デマンドが始まったことで新しく利用し始める人が出てきたりしています。利用者に変化が起きる可能性があるため、各地区に入って協議された方がよいと思います。また、福祉バスのダイヤをどこでも行けるような設定に変えて行く方法もよいと思います。

会長：

もう少しニーズ調査して進める必要があるのではないかという意見でした。また福祉バスのダイヤも今の生活利用なども考えてはとの意見でした。

委員：

デマンドタクシーはお客さんが多ければ多くなるほどコストがかかるため、路線バスを走らせた方が安くなる場合があるので気を付ける必要があります。

委員：

資料によるとデマンドタクシーは片道約2,000円、往復だと約4,000円と費用がかかります。福祉バスをやめてデマンドで補うこととなった場合、費用がかなりかかることを把握しておかなければならない。

また、デマンドでヘビーユーザーの方が出てくる。そうなるとう公共の政策として、利用しない方との平準化を図る必要があります。上限を設けるなどの設定も必要なるかもしれない。

会長：

その他いかがでしょうか。

委員：

1週間前など、いつから予約できるか決めているでしょうか。

事務局：

まだ決めておりません。今後検討していきます。

会長：

住民代表ということで、福祉団体の方がお見えですがご意見ありますでしょうか。

委員：

運転士、タクシーを借り上げてデマンドタクシーを運営するとされているが、1,250万円の予算で足りるか。

委員：（タクシー協会委員）

役場から木沢病院まで約5kmです。タクシーで約2,000円かかります。このデマンドタクシーの輸送コストも約2,000円で同じです。つまりデマンドタクシーは300円を利用者、その残りを行政が負担するという仕組みです。

会長：

先ほどもありましたが、コストの部分について検討していく必要があると思います。その他いかがでしょうか。

委員：

バス停まで行けない高齢者がいる場合どうするか。

事務局：

ドアツードアのことだと思いますが、タクシーとの兼ね合いや始めたらみんなドアツードアが良いということになります。バス停まで歩くことで健康促進となることもありますので今のところドアツードアについては予定ありません。

会長：

その他いかがでしょうか。

委員：

名前が「福祉」バスとなっているので誤解を招きやすいかと思えます。
またドアツードアの必要な方というのは福祉運送など、福祉の分野での対応となってくるかと思えますので、福祉課などで検討する内容になってくるかと思えます。

会長：

多数ご意見いただきましてありがとうございます。いただいた意見を参考に、6月までに修正して再度ご協議いただけたらと思えます。よろしく申し上げます。

事務局：

委員報酬、次回会議について説明。

会長：

それではこれ持ちまして、第1回坂祝町地域公共交通会議を閉じさせていただきます。
本日は誠にありがとうございました。